

講義名	教養特講 (公務員になろう)			授業形態	
担当教員	河辺 有希生	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

教養特講は、公務員をめざす学生や、将来の選択肢のひとつとして公務員にも興味をもつ学生のための入門講座です。講義では対話を通して、多様な考えや視点を有することを理解し、協働的に行動する力を身につけ、今後の具体的な進路設定を行うためのきっかけ作りになることが主眼です。

到達目標

・公務員をめざす学生や、将来の選択肢のひとつとして公務員にも興味をもつ学生が、具体的な公務員の職種・内容を知り目標設定ができるようになる。
 ・今後の進路に関する考えや、具体的な目標設定のきっかけをつかむことができるようになる。

提出課題

・毎回の授業の始めに、レスポンス(クリックカー)を用いて、出席確認を行うとともに、随時、前回の講義内容の小テストを行います。
 ・各講義の最後に講義内容の振り返りシートを提出を求めます。
 ・講義の中間地点、終了時の2回、到達目標を確認するための課題を示し、レポートの提出を求めます。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

・小テスト、振り返りについては、各講義のなかで内容の補足や講評を行います。
 ・中間及び最終のレポートについては、提出期問終了後に、講義連絡(ポータルサイト)を通じて解説、講評を行います。

評価の基準

中間レポート(20%)、最終レポート(30%)、小テスト(20%)、授業の参加・態度(30%)の割合、合計100点満点で評価します。

履修にあたっての注意・助言他

公務員をめざすという明確な目的を持ち入学してきた学生はもちろん大歓迎です。また、現在、将来、前編について明確に考えていないが、選択肢のひとつに公務員もあるかな?という学生も大歓迎です。多くの対話の機会を通して、学生、大人にも多様な意見や考えがあることを知ることもこの講義の目標です。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

・講義、参考資料は当日ペーパーで配布します。

授業計画

- 1.「夢の種類」を探し、見つけよう(公務員とは?)
- 2.公務員にはどのようなものがあるのか?
- 3.公務員の仕事を知らう(一般事務、行政)
- 4.公務員の仕事を知らう(警察官)
- 5.公務員の仕事を知らう(消防官)
- 6.公務員の仕事を知らう(自衛官)
- 7.公務員の仕事を知らう(その他)
- 8.公務員試験とは(概要)
- 9.公務員試験とは(知識分野-社会科学・人文科学・自然科学-)
- 10.教養試験(知能分野-文章理解-)
- 11.教養試験(知能分野-資料解釈-)
- 12.教養試験(知能分野-判断推理-)
- 13.教養試験(知能分野-数的推理-)
- 14.専門試験(択一)
- 15.公務員になろう(まとめ)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A.L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

対話型の演習時間を持ちます。

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義の内容を、講義資料、参考資料をもとに要点をまとめること、講義で考えたことを言語化し記録することを求めます。(予習・復習合わせて4時間)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本演習は以下のディプロマ・ポリシーと関連する
 1.流通科学大学の学生が卒業時に到達して身につけておくべき資質・能力
 (1)「ネアカのひのひへこたれず」の精神をもった人材
 (2)知識を知識に転換することができる、論理的思考力を持った人材
 (3)創造力、新しい視点と豊かな発想を持った人材
 (4)自主・自立の精神を持った人材
 (5)仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材
 (6)豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

多様な考えや意見があることを知り、受け入れることが出来るように学生同士の対話の機会を多く設定する。

実務経験の有無及び活用

備考